編集室だより

＊　編集委員会の構成につきましてご報告申し上げます。代議員会選出の委員で，詩部門では朝比奈緑先生と江田孝臣先生が退任され，飯野友幸先生と梶原照子先生が就任されました。演劇部門では舌津智之先生が退任され，岡本太助先生が就任されました。近代小説散文部門では石原剛先生と成田雅彦先生が退任され，城戸光世先生と古井義昭先生が就任されました。現代小説散文部門ではマシュー・セアドー先生と藤井光先生が退任され，ジョシュア・デール先生と渡邉克昭先生が就任されました。これまでご尽力いただきました先生方に改めまして感謝申し上げます。また，去る５月４日に東北大学で開催された書評会議で，2024年度編集委員長に髙尾直知先生が昨年度に引き続き選出されました。

＊　書評会議では，2023年に出版されたアメリカ文学関連研究書26点について検討し，13点を次号機関誌の「書評」欄で，７点を「短評」欄で取り上げることになりました。書評執筆依頼をご快諾くださいました先生方に御礼申し上げます。また日文号の「書評」欄で取り上げた研究書については，英文による内容紹介を編著者の方々に執筆いただいて英文号に掲載することとなっています。すでにご依頼させていただいていることと存じますが，どうぞよろしくお願いいたします。

＊　本学会機関誌への投稿論文は４月25日に締め切られ，21篇の応募がありました。ご投稿くださいました皆様に厚く御礼申し上げます。６月15日に青山学院大学で開催された編集会議で委員全員による討議を重ねた結果，英文号に２篇が採用されることとなりました。以下，採用論文執筆者のご氏名，所属支部，論文題名をお知らせいたします。

【英文号論文　2篇】

土　岐　光　一（関西支部）　People-to-People Contact in the Global Cold War: The Triangulated Rivalry in *Henderson the Rain King*

大　谷　祐　二（東京支部）　*Winesburg, Ohio* and Sherwood Anderson's Grotesque Sentimentalism

＊　上記採用論文のうち，著者が新人賞受賞資格を持つ論文についてさらに選考を行いました。その結果，以下の１本の論文が新人賞の受賞作となりました。

土　岐　光　一（関西支部）　People-to-People Contact in the Global Cold War: The Triangulated Rivalry in *Henderson the Rain King*

＊　2017年３月をもちまして，国立情報学研究所が提供してきたCiNiiによる論文オンライン化事業が終了しました。日文号・英文号両誌のバックナンバーについては，科学技術振興機構が提供するJ-Stageでオンライン公開されています。ご研究等にご活用頂ければと存じます。

＊　当学会では新人賞創設にともない，2010年度より投稿規定が改定されました。投稿の際には改訂後の投稿規定を遵守くださいますようお願いいたします。図版等の掲載につきましては，版権の申請作業およびその費用を，執筆者にご負担いただきますので，よろしくご承知おきください。投稿規定に準拠しない注・文献形式などの論文，また体裁などに不備がある論文（*MLA Handbook*の最新版を参照のこと）は，編集委員の査読にあたり不利な印象を与えます。著しい場合には，審査の対象から外れる場合もありますので，ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

＊　これまで編集室幹事としてご尽力くださった山本洋平（明治大学）が，昨年度をもって退任されました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。なお，昨年10月の代議員会において新編集室幹事として齊藤弘平（青山学院大学）が承認されました。これからも当学会機関誌の刊行に尽力して参りますので，何卒よろしくお願い申し上げます。

（編集室幹事　齊藤弘平，来馬哲平，深瀬有希子）